

R Y O S Y O
両小だより草加市立両新田小学校
学校だより 10月号
令和4年 10月3日
児童数 435人

「学問の秋」

校長 帆玉 敬一

日中の日差しはまだ強く、気温が高くなる日もありますが、秋分を過ぎ、朝晩はさわやかな風が吹き、秋の気配が感じられます。10月は、延期になった5年生の自然教室や5・6年生の選手が参加する市内陸上大会、校内音楽会等の行事が行われます。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋など「〇〇の秋」にはいろいろなものがありますが、みなさんの秋はどんな秋でしょうか。

先日、4～6年生対象に実施された埼玉県学力・学習状況調査の結果を配付しました。本校の傾向として、国語より算数の正答率が低く少数と分数の計算図形の問題等が不得手であることがわかりました。

また、児童質問紙調査結果で「月曜日から金曜日、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」の問いに4時間以上すると答えた草加市内の小学生の割合18.9%に対し、本校は34.7%という結果でした。

この傾向は、1学期末にご協力いただいた家庭学習アンケートにも表れています。右の表1をご覧ください。

「毎日、家で宿題をやっていますか。（学童ふくむ）」の問いに対して

- 1 必ずやっている・・・80.5%
- 2 ほとんどやっている・・・16.2%
- 3 あまりやっていない・・・3.3%

2または3と答えた児童が、全体の20%弱いました。学力向上を目指すため、宿題の取組を「必ずやっている」児童を100%にしたいと考えています。是非、ご家庭でお子さんの宿題を一緒に見てあげて励ましの声をかけてあげてください。宿題を見てあげると子どもが変わります。ご協力よろしく願います。

次に、本年度から週1回朝の時間を活用して行っているチャレンジタイムの項目です。右の表2をご覧ください。

「算数のチャレンジタイムで、できなかった問題やまちがった問題はどのようにしていますか。」の問いに

- 1 できるまでやっている・・・74.6%
- 2 やっているができない・・・11.6%
- 3 そのままにしている・・・13.8%

2または3と答えた児童が、約25%いました。チャレンジタイムは、基礎基本の定着を目的として行っているため「できない」「そのままにしている」児童をゼロにして、学力向上を目指します。そのために、教務の先生方が中心となり、昼休みの時間を活用してチャレンジタイムでできなかった問題や間違えた問題を解きなおす取組を開始しました。がんばっている子どもたちへの励ましの声掛けをよろしくお願いいたします。

本校では、教職員・保護者・地域の方々と協力し、「チーム両新田小」で子どもたちを見守り、育てていきたいと考えています。今後とも、本校の教育活動に、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

